

川崎平右衛門没後 250 年 記念植樹について

平成 29 年 4 月 名勝 小金井桜の会

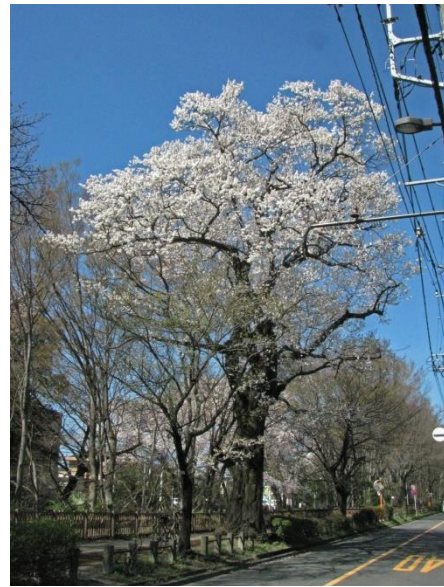
今年が名勝小金井桜の生みの親である川崎平右衛門の没後 250 年の節目の年に当たることを記念して、昨年完成した平右衛門橋の袂に、当会の発案でヤマザクラの記念樹(仮称「平右衛門桜」)を植樹し、去る 4 月 2 日に小金井市長を始め東京都・小金井市から多くの来賓臨席の下、植樹式を行いました【写真-1】。

このヤマザクラ苗木は、会員の杉山利男氏が喜平橋～小桜橋間の上水右岸にある早咲きの古木 # 119【写真-2】を親木として接ぎ木で育成され寄贈されたものです。

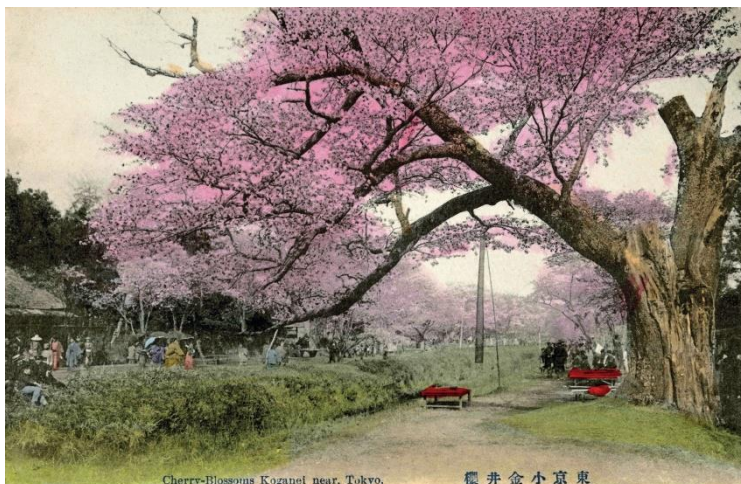
かつて明治から大正期にかけて、この付近には名木と謳われた「富士見桜」【写真-3】があった場所でもあり、この苗木がすくすくと成長して将来市民から愛される名木「平右衛門桜」になることを祈って見守りたいと思います。



【写真-1】植樹式の様子



【写真-2】親木の小金井桜 # 119



Cherry-Blossoms Koganei near, Tokyo, 櫻井金小京東
【写真-3】写真絵葉書の富士見桜(撮影:大正元年前後)